

平成 13 年度第 2 回評議員会議事録

1. 日 時：平成 14 年 3 月 16 日（土） 10：30～17：30

2. 場 所：B & G 財団 東京海洋センター 第 7・8・9 会議室

3. 出席評議員（順不同・敬称略）：

（加盟団体）北海道：秋本正、青森：平久保長蔵、岩手：榊頭治、宮城：棚橋善克（委）、秋田：平野井伸弘（委）、山形：鈴木高明（委）、福島：佐藤利松、茨城：石川靖雄（委）、群馬：中川淳、埼玉：石井次男、千葉：國府田由隆（委）、土橋茂洋、東京：田中耕司、伊藤宏、渡辺健二、神奈川：竹田義幸、田中義明（委）、富田三和子、林幹雄、山梨：羽田定造、長野：横山真、富山：番匠茂、石川：松田孝一、福井：高間博之、静岡：中嶋浩二郎、愛知：森信和、三重：種生登（委）、新潟：野崎喜一郎、岐阜：伊藤和典、滋賀：山田将人、京都：岩崎勝（委）、大阪：岩崎清彦（委）、兵庫：川上宏、奈良：中井靖典（委）、和歌山：雑賀秀夫（委）、鳥取：善波周、島根：幸野孝治、岡山：馬場正彦、広島：瀬尾潔、山口：堀永敦臣、香川：中山道照（委）、徳島：石井良直（委）、愛媛：西田昭二、高知：文野順夫、福岡：岩瀬広志（委）、佐賀：松山和興、長崎：藤田邦行、熊本：藤田和明（委）、大分：後藤督（委）、鹿児島：大迫哲弘（委）、

外洋津軽海峡：米山義勝（委）、いわき：藁谷俊哉（委）、東関東：横田光夫、東京湾：足立利男、地曳源樹、野口隆司（委）、別部尚司、三崎：山中昭弘（委）、市原恭夫、前田泰明、川久保史朗（委）、方栄世（委）、三浦：大谷正彦、鈴木知二、今北文夫（委）、湘南：稲葉文則（委）、榛葉克也、渡辺康夫、駿河湾：松永一生（委）、東海：渡辺行彦（委）、丹羽徳子（委）、大島茂樹（委）、森岡稔夫（委）、坂谷定生（委）、内海：馬場益弘（委）、植松由量、大倉俊（委）、稲継一洋（委）、西内海：金井寿雄（委）、長浦勝則、野田福美、玄海：原田芳治（委）、南九州：橋元幸一、

（特別加盟団体）クラブ連盟：野尻敦也、ソリング：高島豊、470：幡野文子、フィン：石原文雄、スナイプ：山本二郎（委）、シーホース：北川浩司（委）、OP：国見悦朗（委）、FJ：古屋勇人（委）、モス：小倉正明（委）、レーザー：木村治愛、I14：萩原賢一、トーネード：池田光司、K16：中瀬昭、シーホッパー：山近雅彦、ドラゴン：青山篤（委）、J24：中澤信夫、ヨーロッパ：杉山秀二（委）、ウインドサーフィン：広瀬健（委）、ホビー：中丸剛仁（委）、模型ヨット：石川淑彦、アメリカズカップ：武村洋一（委）、49er：高橋雅之、シードスポーツ：平林滋（委）、

以上出席 106名（内委任状出席 47名）

欠席評議員：

（加盟団体）栃木：森谷茲允、宮崎：児玉純一、沖縄：柳生徹夫、外洋北海道：大辻芳樹、三崎：高村宏、三浦：藺信雄、馬目徳男、近北：岡田清春、笠原文和、内海：瀬川洸城、鈴木重行、沖縄：東江正喜、

(特別加盟団体)学連：長瀬恒平、高体連：澁谷有人、ジュニア：安井清、実業団：西村蔚、自治体職員：小宮三雄、ファイアーボール：八木信彦、トッパー：小林伸介、ミラー：土肥雄一、420：福吉信雄、テザー：安澤厚男、B14：大山濠、以上欠席者23名

その他出席者：

会長代行：戸田邦司、副会長：小田切満寿雄、松本富士也、専務理事：小田泰義、常務理事：栗田栄一郎、高橋順一、理事：岩田直幸、栗原博、斉藤威、清水昭、鈴木保夫、富田稔、戸張房子、名取正精、平賀威、広瀬興郎、松田健次郎、倭千鶴子、福田義一、昇隆夫、都築勝利、水谷益彦、中山明、石崎五一郎、西原敏文、古谷正宏、秋山雄治、監事：青淵隆督、石崎忠朗、顧問：秋田博正、委員長：末木創造<レース>、米山博己<医事ノ代理>、渡辺康夫<外洋法規>、柴沼克己<ルール>、林賢之輔<技術>、

その他：庄司一夫<宮城>、小野尚士<茨城>、武市進作<京都>、矢野正三<香川>、菅原弘<福岡>、杉山嘉尚<学連>、中根健次郎<ジュニア>、塚谷裕<スナイプ>、大橋正敏<420>、千葉貴生<ウインドサーフィン>、本吉譲治<テザー>、村山浩章<シードスポーツ>、奥村雅晴、米田敏也<育成>、以上50名

4. 議題

< 議案事項 >

- (1)平成13年度予算第2次補正について
- (2)平成14年度事業計画(案)
- (3)平成14年度予算(案)

< 報告事項 >

- (1)クラブ並びに団体のJSAFへの加盟について
- (2)艇登録について
- (3)平成13年度委員会中間報告
- (4)その他 平成14・15年度評議員について

5. 議事の経過及び結果

(定足数の確認)

評議員130名中、出席106名(内委任状47名)で、寄附行為第34条5項に基づく定足数を充たしており、本会は成立した。

(議長の選出及び議長の開会宣言)

寄附行為34条3項に基づき、議長の選出を行った。議長は森信和氏(愛知県ヨット連盟)に決定し、平成13年度第1回評議委員会開催の宣言があった。

(議事録署名人の任命)

本会の議事録署名人は議長指名により、石原文雄<フィン協会>、市原恭夫<外洋三崎>の両氏が任命され、承認された。

(戸田副会長挨拶)

JYAとNORCが統合し3年を経過したが、諸事業についてはまだ統合効果をあげるまでにはいたらず、来年度こそその真価が問われることになると思う。

山崎会長病欠欠席の間、とりあえず私が会長職務を代行することに決まった。可能なかぎり務めたい。

本日の評議員会は十分な討議の上、議事進行にご協力をお願いする。

議案(1)平成13年度予算第2次補正について(参照資料)

議案(3)平成14年度予算(案)(参照資料 -)

鈴木理事より、平成13年度予算第2次補正については、まず1番目に第一次補正予算において、一般会計収入内寄付金収入の目標額を決め募金活動を行ったが、日本の厳しい経済状況の中目標を達成することが難しくなったこと。2番目として加盟団体のメンバー数の減少に伴い、加盟団体負担金収入が減少したことの二つの原因が上げられ、これからの収入減に対する措置として、13年度中に執行しなくてはならない事業を除き、ストップすることにして支出の削減を図り、オリンピック特別会計についても、寄付金の不足額を補うために前期繰越金の一部を充当することとした旨、説明があった。

引き続き平成14年度予算(案)については、13年度の厳しい状況を踏まえ、収入の面では、寄付金収入は安全をみて13年度より減額する。オリンピックの寄付金収入のうち、一般会計に繰り入れる額を13年度より大幅に減らす。加盟団体負担金収入については全力をあげてメンバー増収を図る。支出の面では、会報誌の発行数を年に10回から6回に減らす。管理費の更なる見直し削減。各委員会の事業の出来る限りの支出削減。予備費を昨年度より増やし、会計の健全化に務めるなどの方針で作成した別紙資料に基づき説明があり、同意された。

議案(2)平成14年度事業計画(案)(参照資料 -<A>)

小田専務理事より、基本方針・重点施策について資料に基づき説明があり、同意された。

報告(1)クラブ並びに団体のJSAFへの加盟について(参照資料)

富田理事より、ここ数年で2000名以上のメンバー減少があり、この事態を深刻に考えており、取り急ぎJSAFメンバー離れを阻止する対策を練っているところである。そこで、まず第一に登録団体制度を見直し、裾野を広げることに於いてクラブ等の団体が特別加盟団体に所属し、活動できるための思案が別紙資料にて説明された。

報告(2)艇登録について(資料)

富田理事より、外洋艇登録規則(平成14年3月4日改定)の目的・登録条件・登録手続きについての説明が別紙資料に基づき説明され、一定の基準(条件)は現在作成中である

旨、報告された。

報告（３）平成 13 年度委員会中間報告

各担当理事を中心に各委員会の委員長より、報告・連絡・意見などの交換、質疑応答を行った。

報告（４）その他

・平成 14 年・15 年度加盟団体 < 102 名 > 評議員候補者（東北・北海道水域水域 < 10 名 >、関東水域 < 38 名 >、中部水域 < 10 名 > 近畿北陸水域 < 9 名 >、関西水域 < 12 名 >、中国水域 < 9 名 >、四国水域 < 4 名 >、九州水域 < 10 名 >、・特別加盟団体 < 21 名 > 評議員候補者（目的団体 < 6 名 >、艇種別団体 < 15 名 >）合計：123 名が発表された。

- ・セーリングスピリッツ協会より、新役員及び組織についての報告が別紙資料に基づき報告された。
- ・松本副会長より、日本一周フラッグリレーキャンペーン企画進捗状況の説明があり、各水域でのスケジュール調整についての依頼があった。

本日の評議員会の議題は上記の通り議決承認されましたので、議事録署名人は次に記名捺印する。

平成 14 年 3 月 16 日

議 長 森 信和

議事録署名人 石原 文雄

議事録署名人 市原 恭夫